

《町内公共交通（デマンド便）のコンセプト》

- 町内事業者で検討
- デマンド車両1台でできるよう、南・北を各週3日、スクールバスの空白時間帯（概ね9時台～13時台で3便程度）の運行を検討
- 郊外部に居住する高齢者を対象
主に、日中の通院・買い物の帰宅等。ぬくもり福祉券活用を考慮し250円単位の料金設定の検討

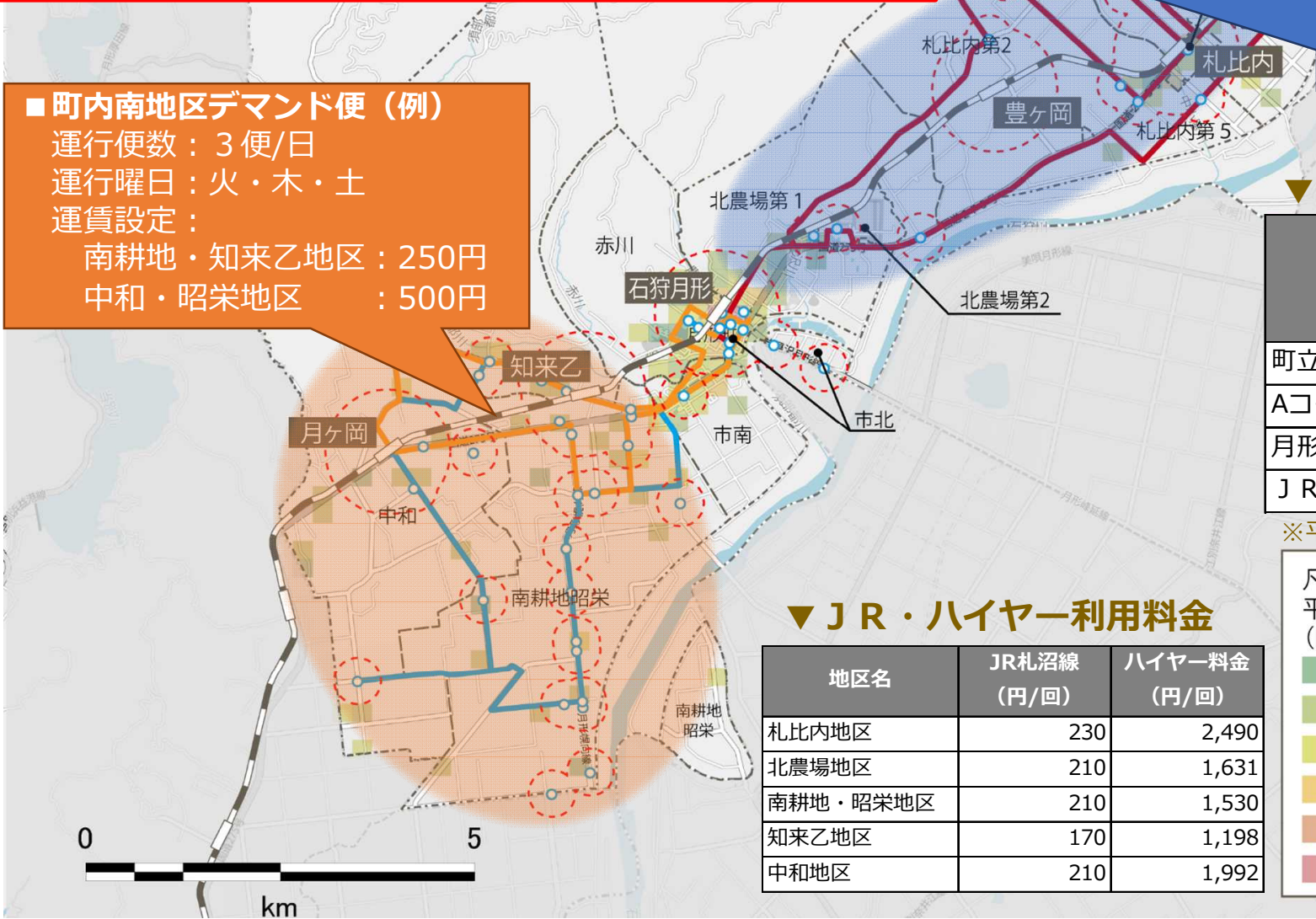
デマンド交通とは、例えば、「前日まで予約」、「他の客もと乗り合わせ」、「家まで迎えに来るが行き先が病院、店舗など特定場所のみ」。ハイヤーより安い料金。

■町内北地区デマンド便（例）

運行便数：3便/日
運行曜日：月・水・金
運賃設定：
札比内地区：500円
北農場地区：250円

■町内南地区デマンド便（例）

運行便数：3便/日
運行曜日：火・木・土
運賃設定：
南耕地・知来乙地区：250円
中和・昭栄地区：500円



▼ハイヤー利用目的地

市街地停車施設名	ハイヤー利用者数(人)
町立病院	542
Aコープ（役場）	244
月形温泉	180
J R月形駅	129

※平成29年度ハイヤー運行日誌分析結果

▼J R・ハイヤー利用料金

地区名	JR札沼線(円/回)	ハイヤー料金(円/回)
札比内地区	230	2,490
北農場地区	210	1,631
南耕地・昭栄地区	210	1,530
知来乙地区	170	1,198
中和地区	210	1,992

凡例
平成27年高齢者数(国勢調査)

1～4人	J R 駅
5～9人	J R 路線
10～19人	バス停
20～29人	
30～49人	公共交通勢力圏
50人以上	地区区分

